

平成29年8月9日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(67回公演)報告

29.8.8 熊谷市老人福祉センターひかわ荘 熊谷市弥藤吾

昨日の天気予報では台風5号が関東地方に最も接近すると言っていましたが、朝から雨の降り方も風も弱く、心配していた公演も中止することなくできホッとしました。

7月の社協デイサービスセンターの公演の際見学に来ていた隣の「ひかわ荘」の荻野所長さんから依頼を受け今日の公演になりました。この施設は旧妻沼町で開設され、その後熊谷市社会福祉協議会が引き継いだもので、お風呂に入りその後にカラオケ、ダンス、民謡踊りなどの娯楽をして楽しむ施設です。会場に入ると15人程の方が丁度舞台で秩父音頭を踊り、100名程の元気な高齢者の方々が見ていました。今日のお客さんです。

今回は根岸さんが初めてお休みの公演です。少々心配ですが1時30分には4人が現地に集まりました。玄関に着くと荻野所長さんが出迎えてくれ、用意していた部屋で着替えとスケジュールの打ち合わせを行って2時からの開演の準備をしました。

初めに荻野所長さんから挨拶をいただき、早速舂田さんの「南京玉すだれ」の口上から演技が始まりました。今日のお客さんは皆さん元気そのもので、一段と大きな掛け声と手拍子をいただきました。このセンターでも「南京玉すだれ」を初めて間近に見る人が多く、形が変わる毎に「お～お～」という驚きの声が聞かれました。4人の自己紹介、「南京玉すだれ」の動きを説明した後、元気の良いお母さんに舞台上上がったもらい「玉すだれ」の簡単な手ほどきをし、会場から大きな拍手がわきました。その後「きよしのズンドコ節」を演じ、「サザエさん体操」では6人に舞台上がってもらい、舞台下では皆さんが立ちあがり体を動かしました。最後に「東京五輪音頭」と「麦畑」を行い70分の公演が終わりました。







